

# シークレット一斉花火

飯塚、嘉麻、桂川 来月31日 20か所で

飯塚青年会議所は10月31日午後8時から、飯塚、嘉麻両市と桂川町の計20か所で一斉に花火を打ち上げる「シークレット花火大会」を開く。新型コロナウイルスの影響でイベントや祭りの中止が相次ぐ中、地域の人たちに楽しんでもらおうと企画。見物客の密集を避けるため打ち上げ場所は非

シークレット花火大会のポスターを手にする原中さん



# 筑豊



筑豊支局  
〒820-0004  
飯塚市新立岩4-4クレイン-3  
☎0948-22-2327 Fax 26-1074

田川通信部  
0947-42-3070 Fax 42-3090

直方通信部  
0949-29-6021 Fax 29-6031

西部本社  
〒810-8581  
福岡市中央区赤坂1-16-5  
社会部 ☎092-715-5641

九州総本部 ☎093-531-2065

購読は  
**0120-4343-81**

販売会  
0947-44-0582 Fax 46-1928

広告 ☎0948-22-6644

折り込み ☎093-921-5606

旅行 読売旅行福岡営業所  
0948-26-3055 (転送)

県内の新型コロナウイルス感染者数  
16日午後6時現在)

北九州市	629
福岡市	2700 (8)
大牟田市	85
久留米市	132
直方市	27
飯塚市	78
田川市	27
田川市	22

## 飲食店給付額に段階

コロナ対策費 県、抜き打ち調査も

新型コロナウイルスの対策を取っている飲食店に5万円を給付する事業を巡り、小川知事は16日の県議会代表質問で、上限額を5万円として給付額に段階を設ける方針を明らかにした。対策が取られているかを確認する抜き打ち調査も行う。

自民党県議団の栗原渉県議の質問に答えた。

事業は消毒薬の購入など感染防止対策を支援するため、業種別の指針に沿っている飲食店が対象。当初は一律5万円の支給を想定し、対策にかかる支出が5万円未満だと対象外だった。

県は、給付の対象を2万円以上の支出に拡大。2万円台の支出なら2万円、3万円代なら3万円と、支出

事業費は約430万円、企業からの協賛金とインターネットのクラウドファンディング(CF)で集めた寄付金で賄う予定。CFは200万円を目標に今月上旬から募っており、1口3000〜10万円。

2市1町の商工会青年部のメンバーや、飯塚市の近畿大産業理工学部と九州工業大情報工学部の学生らもボランティアで参加し、ポスターやチラシの配布、当日の会場警備などで協力する。

大会を企画した同会議所未来のまちづくり特別室長の原中茂雄さん(35)は「地域の人たちに元気を届けた」と話している。

荒天の場合は11月1、7、8日のいずれかに延期する。問い合わせは同会議所(0948・23・0292)へ。